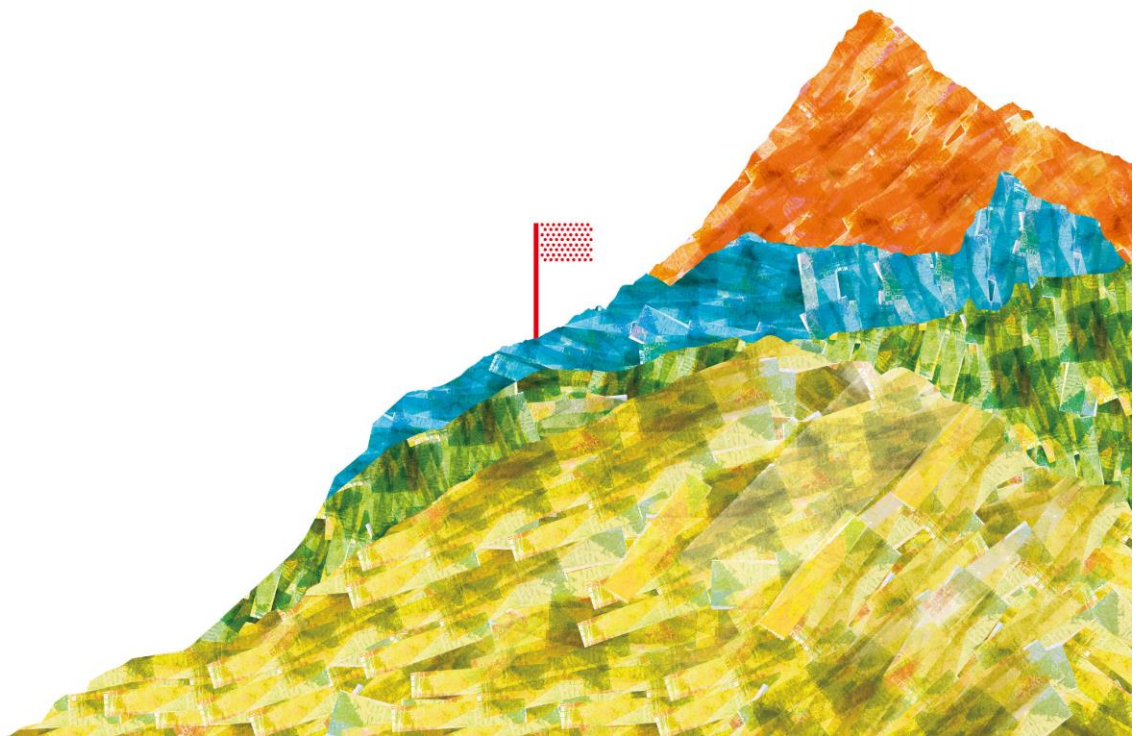


令和4年度 事業報告書

(南東京エリア)



社会福祉法人 こうほうえん

鳥取県境港市誠道町 2083 番地

令和4年度事業報告書(南東京)

1 令和4年度総括(成果、反省等を簡単に)

- 1) 新型コロナウイルス感染症が蔓延する中、コロナに負けない「ウィズ・コロナ」の運営を実施することを心掛け、保育園、ケアホーム、グループホーム、小規模多機能、緊急ショートステイ、いきいきセンター等の事業を継続して実施できた。各事業においては、年間を通して少なからずコロナ感染症発生の影響を受けたため、令和3年度より平均稼働率は低下した。
地域交流活動や世代間交流は、コロナ禍において社会全体が消極的傾向にあり、昨年度に引き続き殆ど実施することが出来なかった。
- 2) 「ケアホーム西大井」では、介護度や年齢・介護状況等を数値化し入居待機順を決定する入居調整方法へと見直しを図った。現待機者への経過措置対応を講じたこともあり入居調整方法の変更による大きな成果はまだ得られていない。入居判定会議の開催が間に合わずに入居調整に影響が生じたことから、次年度は更なる運用の見直しを図る。新型コロナウイルスクラスター発生によって入居調整に遅れが生じるなど、厳しい運用を迫られる年でもあった。

2 トピックス(新規事業、重点実施事業等(独自で実施している地域貢献活動含む))

- 1) 「ケアホーム西大井」では日本ユマニチュード学会が創設したユマニチュード認証制度のブロンズ認証取得に取り組み、職員への認証取得説明会の実施、事業所内委員会活動の見直し等の組織・体制の再編成、習熟度テストや職員相互の技術チェック等の知識習得と技術研鑽を年間を通じて実施した。

ユマニチュードに取り組む施設としてユマニチュード生活労働憲章を掲げ、人としての尊厳・自由・平等・市民権・自立・自律に基づいて目指す「住人」の暮らし、それを尊重する職員の行動、生活の場である施設の在り方について考え続け・実現していく組織を目指す。住人が自分らしく安心して暮らせる住まいづくり、職員が働き甲斐を感じられる職場、絶えず入居や入職の希望が絶えない施設となることを目標に活動を続けている。

- 2) 地域交流活動はコロナ禍の影響で本年度も停滞、縮小したままの結果に終わった。その中でも社会情勢の変化を見ながら、新砂では自治会の一斉清掃や年末夜間警護の見回り参加、西大井では「大井第三地区区民まつり」に看護師を派遣するなどして地域との関係性の回復に努めた。

公益的な取り組みにおいては、「まずやってみる」の精神で、新砂において保育と介護の相談会を開催、西大井では地域協力として、学習支援への場所提供を開始した。子供たちが落ち着いて勉強できる環境を提供できている。次年度は、新砂で行っていた認知症カフェ「銀色茶房」の再開と共に、公益的な取り組みの更なる展開を図ることが課題となる。

3 エリア目標の達成度合とその評価(戦略会議の資料等)

- 1) 己を知り、ご利用者を知り、的確なサービスを提供する

第12回オールジャパンケアコンテストにおいて新砂・西大井ともに優秀賞を受賞し、ユマニチュードや口腔ケアの技術が現場で定着しつつあることを示している。ケアホーム西大井独自の口腔ケア段位制度は毎年職員が段位の取得を個人目標に挙げ積極的に取り組んでいる。段位制度については介護付きホーム研究サミットにおいて発表を行い、高い評価をいただいた。

「グループホーム新砂」においては、東京都次世代介護機器導入促進支援事業を活用し「眠りSCAN」を導入した。利用者の睡眠状況の把握から睡眠の質への改善、巡視のタイミングなどを検討し、サービスの提供に効果を得ることができた。また、巡視回数の見直しなどにより、職員の業務負担軽減にも繋ぐことができた。

2) 職員育成の充実と職場環境の改善

ユマニチュードを学びたい理由から西大井への異動を希望したり、西大井から他事業所へ異動した職員のケア力の高さを評価されるなど、ユマニチュードがもたらす職員育成や職員採用への効果を実感している。これまで法人として体系化し、実施してきた各種研修や現場でのOJT、「互恵互助」の読み合わせは勿論のこと、毎朝の「虐待予防チェックノート」やユマニチュード資料の読み合わせは職員育成の基として欠かせないものとなっている。

法人理念の浸透を徹底して図ることが、人材育成に繋がっている。

3) 広報活動実践の強化

各事業所や保育園においてInstagramやFacebookを活用した広報活動を展開し、広域的な情報発信を強化した。保育園においては日々の保育の活動や園生活の様子、介護においては館内や職員、実習生の様子など、広報誌やホームページとは少し異なる視点での発信を行った。

実習生の受け入れを積極的に行い、福祉を学ぼうとする学生に福祉業界の魅力を伝え、業界への関心、興味を持ってもらうことに努めた。法人の魅力を現場で膚で感じることで、実習生が就職を希望して採用に繋げることができた。

ケアホーム西大井では「介護のしごと魅力発信事業」として産経新聞社と共同で「子どもヘルパー体験会」を開催した。近隣中学生と教員7名が参加し、高齢者の加齢による変化を学び、車いすの操作や介助を実際に体験した。同中学校からは職場体験も受け入れ、コロナ禍の中で可能な限り地域との交流に努めた。

4) SDGsへの取り組み

「新砂保育園」では、園児と共にSDGsについて学び、考えることで、保育園全体でSDGsに取り組んだ。保育園の夏祭りの際、各クラスでの取り組みの成果をポスターとして掲示した。また、子ども服や子ども用品、おもちゃなどのリサイクルコーナーを設置して「MOTTAINAI」を呼びかけた。リサイクルコーナーは好評で、保育園の玄関正面に継続して設置することになった。今後は、地域の子育て家庭にも呼び掛け、地域交流活動として幅広く展開したく考えている。

4 入所系事業所(デイハウスは登録人数)の稼働率の推移(稼働率:小数点第1位)

事業所名	定員(人)	令和4年度(%)	令和3年度(%)	令和2年度(%)
ケアホーム西大井	48	91.3	96.3	96.0
多機能ホーム新砂	29	93.4	81.0	84.2
グループホーム新砂	9	98.7	100	99.7

シルバーステイ	4	71.0	79.0	68.2
---------	---	------	------	------

5 各エリアの取り組み実績

<p>年間行事一覧</p>	<p>○レク(フラワーアレンジメント、絵ハガキ作り、季節飾り作り、バレンタインチョコ作成、春の戦国武将祭り) ○季節行事(誕生日会、夏祭り、クリスマス会、もちつきの会) ○ひまわりカフェ、○ハンドマッサージ、○プラチナ美容塾、○外出レク・外出行事</p> <p>○楽器演奏会(ピアノ、ハープとピアノ、オカリナ&ヴァイオリン、オカリナ、フルート)</p> <p>○行事食提供レク(おしるこ、手まり寿司、お好み焼き、梅酒、おやつ作り、お菓子作り、今半のお弁当ランチ、すき焼き弁当、寿司、かき氷、パンケーキ作り、おしるこ、キッチンカーの屋外昼食、)</p> <p>○自治会一斉清掃</p> <p>○保育園内行事:春の遠足(5歳児)・全体保護者会/クラス懇談会(ZOOM開催)・保育参加・おはなし会・こどもの日お楽しみ会・運動会(クラス別)・プール開き・七夕集会・夏祭り(3部制)・幼児クラスお神輿練り歩き・おはなし会・誕生会・夕涼み会(5歳児)・避難訓練(引き渡し訓練)・運動会・施設合同避難訓練・幼児秋の親子遠足・公開保育・幼児クラス生活発表会・クリスマス会・SDGs 劇場(幼児クラス)・おもちつき会・新年子ども会・親子バディネス体験・節分の会・お店屋さんごっこ・ひなまつり・就学祝賀会・5歳児お別れ遠足・南砂水再生センター「さくらを見る会」</p>
<p>BCP 等訓練実施状況</p>	<p>○合同消防・防災避難訓練 ○避難訓練 ○引き渡し訓練(保育) ○火災通報装置操作訓練</p>
<p>エリア内研修状況</p>	<p>○コミュニケーション実践研修、○口腔ケア研修、身体拘束・虐待防止研修、○東京地区ユマニチュード研修、○新入職員フォローアップ研修、○介護実習指導者研修、○安全衛生に関する研修、○認知症介護実践リーダー研修、○認知症実践者研修、○初任者研修、○会長講和、○ヘルスプロモーション研修、○リスクマネジメント研修、○看取り研修、○社会福祉士実習指導者研修、○介護福祉士実習指導者研修、○ケアプラン点検研修、○救急隊による救急法の講習(AED・心マ)、○身体拘束・虐待研修、介護事業所等職員向けメンタルケア研修、○施設運営リスクマネジメント研修、○権利擁護・虐待研修、○新人職員フォローアップ研修、○ユマニチュード認証取得説明会、○生産性セミナー働きやすい職場環境作り、○高齢者虐待防止研修、○アセスメント研修、○次年度方針、○アンコンシャスバイアス研修、○セルフマネジメント研修、○不適切保育防止研修、○AED 研修、○五法人合同</p>

	研修、
エリア内会議、委員会活動	<p>○南東京エリア調整会議 ○虐待防止委員会(年3回以上開催) ○介護3事業所・リーダー会議(新砂) ○全体会議(西大井) ○ケアホーム事務所会議(西大井) ○運営推進会議(新砂、隔月または書面報告) ○品川区避難所会議(約3ヵ月に1回開催) ○東京地区研修委員会 ○労働安全衛生委員会 ○環境・レク委員会 ○広報委員会 ○給食会議 ○身体拘束廃止会議(3ヵ月毎) ○排泄・褥瘡委員会 ○ISO委員会 ○リスクマネジメント委員会 ○口腔ケア推進委員会 ○ユマニチュード推進委員会</p> <p>(※特に明記の無い会議は月1回の開催)</p>
委員会活動等の成果・実績・反省	<p>○西大井の「ふれあいの橋の会」の再開や、新砂の「苦情解決第三者委員会」の開催など、委員会活動を徐々に実施した。また、これまで西大井・新砂それぞれで抑制や虐待防止に取り組む活動を行ってきたが、新たに法人の虐待防止規定が制定されたことを受け、エリア全体としての虐待防止委員会を設置し、人権擁護や虐待防止を徹底、強化することとした。</p> <p>○新砂の地域密着型事業の運営推進会議(隔月開催予定)は、コロナ感染状況の影響で中止となることも多かったが、書面報告を行い、委員の意見・助言を伝えて貰う取り組みを行った。</p> <p>○「ケアホーム西大井」において、ユマニチュード認証取得を目指す中で、事業所の体制見直しを図った。事業所内の委員会を再編しそれぞれの方針の下、事業所内の課題の洗い出しや課題解決に向けた取り組みができる体制を整えた。ユマニチュード推進部が各々の委員会活動の統括を行い、横のつながりを持って活動を進めていくことが継続的な課題である。法人の目指す姿『互恵互助』を実現するために今後もユマニチュードの浸透に取り組んでいく。</p> <p>○銀色茶房(認知症カフェ)、夏祭りなど、地域の方と一緒に進めていく活動について再開する方向で進めていく。</p>

6 人材状況

外部研修等講師派遣実績	<p>田中とも江(看護師、施設長)</p> <p>○品川区施設管理者向け虐待防止研修講師 ○品川区施設推進者向け虐待防止研修講師 ○東京工科大学看護研修講師</p>
外部役職就任状況	<p>○NPO シルバー総合研究所 理事 田中とも江 施設長</p> <p>○千葉県 身体拘束・排泄ケア現地指導員 田中とも江 施設長</p> <p>○福島県虐待防止ネットワーク連携会議委員 田中とも江施設長</p> <p>○日本ユマニチュード学会 理事・エグゼクティブインストラクター 田中とも江施設長</p>

<p>外部表彰受賞状況</p>	<p>【西大井介護】</p> <p>○第12回オールジャパンケアコンテスト 口腔ケア部門 堤絵里子(介護福祉士) 優秀賞</p> <p>○令和4年度 品川介護従事者実践者研究発表会 優秀賞</p> <p>○第10回介護付きホーム事例研究発表会全国大会 介護付きホーム研究サミット2022 奈良とみ子(歯科衛生士) 優秀賞</p> <p>○第12回AJCC(オールジャパンケアコンテスト)において、全5分野の内、当エリア職員2名がそれぞれ入浴部門と口腔ケア部門において優秀賞を受賞する。</p>
-----------------	--

7 地域貢献実績(保育所含む)

<p>実習受け入れ実績 延人数 581人</p>	<p>介護福祉士:武蔵野大学別科、品川介護福祉専門学校、淑徳短期大学、東京福祉専門学校、 社会福祉士:東洋大学、淑徳短期大学、日本福祉教育専門学校社会福祉養成科(夜間過程)、日本福祉教育専門学校社会福祉養成学科、日本社会事業大学 看護:東京工科大学 保育:東京 YMCA 保育専門学校、星美学園短期大学、有明教育短期大学、目白大学、</p>
<p>ボランティア受け入れ実績 延人数 61人</p>	<p>○レクリエーション(楽器演奏、フラワーアレンジメント、料理) ○催しの手伝い ○園児の保育手伝い ○楽器演奏・指導</p>
<p>見学受け入れ実績 実人数 211人</p>	<p>○入利用希望者(介護・保育/本人・家族) ○中国より視察</p>
<p>地域交流活動実績1 実施回数 4回 延人数 176人</p>	<p>○子どもヘルパー体験会 ○介護・保育の相談会 ○おもちゃつき会 ○パディネス「みんなで一緒にエクササイズ」体験会</p>
<p>地域交流活動実績2 実施回数 回 実人数〇〇〇人 延人数〇〇〇人</p>	
<p>ボランティア・環境活動参加実績1 投入実人数 55人</p>	<p>○地域避難所連絡会議への参加 ○地域まつりへの看護師派遣 ○新砂三丁目アパート自治会一斉清掃活動 ○保育士による「順天堂広場(公園)」のゴミ拾い(新砂、毎月1回)</p>

<p>ボランティア・環境活動参加実績 2 投入実人数〇〇〇人</p>	
<p>地域発信活動実績 (介護、看護の日、イベント開催等)</p>	
<p>地域発信活動実績 (認知症サポーター養成講座)</p>	
<p>地域発信活動実績 (講習会、講演会の主催及び参加等)</p>	<p>○研究発表等 第 4 回日本ユマニチュード学会総会、日本ユマニチュード学会主催、2022.9.24-25、京都大学・オンライン開催 ・沼上久美子(介護福祉士)、清水俊文、盛真知子、田中とも江(共同) 「GINESTE-MARESCOTTI®ケアメソッド 介助を受ける人の分類」を用いた評価と実績 ―正しいレベルでのケアをするひとになるために― 第 10 回介護付きホーム事例研究発表会全国大会 介護付きホーム研究サミット 2022、一般社団法人全国介護付きホーム協会主催、オンライン開催 ・奈良とみ子(歯科衛生士) 歯科衛生士と連携した口腔ケアで介護士に専門職としての自負が育った～入居者の歯科受診の目的が変わる～ 令和 4 年度 品川福祉保健従事者 実践・研究発表会、土阿川介護福祉専門学校主催、2023.2.3、オンライン開催 ・岡崎忍(介護福祉士)、小笠原秀明(介護福祉士)、奈良とみ子、田中とも江(共同) 当施設の介護職員が感じる口腔ケアに関する介護負担感 ―「口腔関連介護負担感尺度」を用いた調査―</p>